

備前市事務事業評価表

事務事業名	生きがい創造事業			コード	02-01-04-01
				担当課・係	福祉事務所 高齢者福祉係
				担当者	藤森仁美
				電話	64-1827
事業実施期間					
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目(施策)	高齢者福祉			

事業について	
目的 (何のために)	在宅高齢者の知識と経験を生かし、その能力と意欲に応じた生産又は創造的活動によって生きがいの高揚を図ることを目的とする。 シルバーカードの発行により、家に閉じこもりがちな高齢者が外出するきっかけをつくる。
対象 (誰・何を対象に)	高齢者
内容	陶芸教室・木彫教室・園芸教室、シルバーカード発行

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
陶芸教室教室生	27 人	27 人	
木彫教室教室生	28 人	28 人	
園芸教室教室生	24 人	26 人	
シルバーカード発行	50 枚	111 枚	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	424	国庫補助金等	282	直接事業費	455	国庫補助金等	282
	人件費	500	受益者負担		人件費	920	受益者負担	
	合計	924	市債	642	合計	1,375	市債	1,093

必要人員	0.10 人	0.10 人	
結果指標名	陶芸教室教室生	陶芸教室教室生	
結果指標量	27	27	
単位	人	人	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	406,000 円	393,000 円	
単位当たりコスト	15,037 円	14,556 円	
結果指標名	木彫教室教室生	木彫教室教室生	
結果指標量	28	28	
単位	人	人	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	286,000 円	273,000 円	
単位当たりコスト	10,214 円	9,750 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	高齢者の外出や社会参加促進を図り、社会的孤立感を解消し、生きがいを持って生活できるようにする。		
成果指標名	受講率	式又は説明	各教室の教室生の定員は30人づつであり、受講率向上をめざす。
	17年度	18年度	
成果指標量	88	88	
対前年比	—	100.00%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 生きがいと創造の事業実施要綱	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	文化活動は老人クラブに委託している事業実施を、老人クラブに移管することが必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	文化活動は高齢者及び老人クラブのさらなる積極的な事業参画を促進する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	ライフスタイルや、価値観の多様化もあって、各教室の受講率が伸びていない。高齢者のニーズの掘り起こしを行う。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状態	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	文化活動は平成19年度に老人クラブに事業を移管したことで、さらに自主活動を促している。
目標値	結果指標量 28	結果指標量	29	
	成果指標量 90			

総合評価	高齢者が文化活動を通じて生きがいを持って生活することは、介護予防の観点からも重要である。老人クラブに事業を移管したことで、さらに自主活動を促していく必要がある。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	教室のPRをするなど、受講生増加に向けて対策を図る。		高齢者の介護予防が図られる。